

# DX 戦略策定 セミナー

デジタル技術を活用が  
経営課題の解決に

なぜいまDXなのか、自社にどのように関係するのでしょうか。DXを外部環境としてとらえ、自社はどう向き合うべきか、デジタル技術をどう活かすべきかを考えてみませんか。

中小企業庁「みらデジ経営チェック」で同業他社と自社を比較した上で、自社にあったデジタル活用の考え方、ツールの導入をゴールとするのではない、自社の経営課題の解決にあったデジタル活用のためのDX戦略の策定方法を学びます。

令和5年  
9月13日(水)  
14:00~16:00  
(13:30受付開始)



会場 KDDI 維新ホール 会議室205C

対象 県内に事業所を有する中小企業者

持参物 スマートフォンもしくはネット接続可能なPC  
※演習で使用します。  
※会場にはWi-Fiを設置します。

形式 会場20社+WEB配信のハイブリッド開催

お申込み <https://www.ymg-hrd.jp/?p=2117>



お問合せ

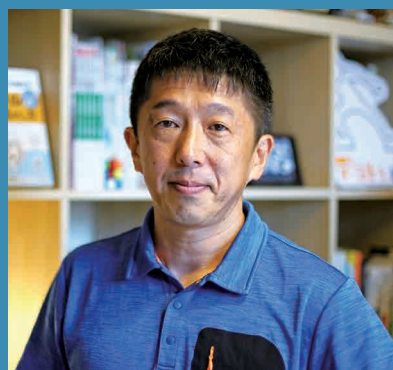


公益財団法人

やまぐち産業振興財団 経営企画部

DX推進コーディネーター ☎ 083-902-3711

## 講師プロフィール



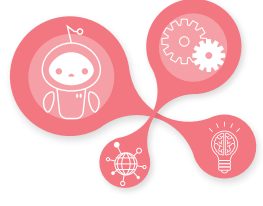
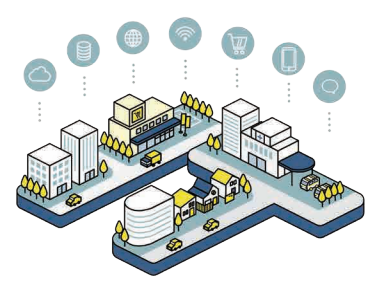
合同会社デジトレ  
代表社員 堀 明人氏

情報通信業界で情シス・マーケ・営業と一貫して企画畑を歩む。

米国留学・英国勤務をきっかけに自分らしく生きるライフスタイルに強く共感し独立。以来15年に渡り、ICTベンダーの事業戦略サポート、中小ビジネスのデジタル活用支援、スマート農業の推進など、様々な事業者のビジネス拡大をサポート。

「日本の中小ビジネスのデジタル経営スピードを最速にし、デジタル経営幸福度を最幸にする。」をビジョンに掲げて活動中。

# DX 戦略 DIGITAL TRANSFORMATION



**研修のねらい** 技術やサービスの進化で IT 活用が容易になった一方で、IT への過度な期待や自社の目的とのミスマッチから、効果的な活用に課題があります。

本研修では、まず DX の基礎知識と意義、DX 戦略立案の流れを学びます。次に「ありがたい姿整理シート」や「デジトレ診断」等のツールを用いた演習を通して、自社分析と課題選定を行います。これらを基に、自社の実情と目的に合わせた DX 戦略を検討し、個別研修にてブラッシュアップしていきます。

## 支援の流れ

**セミナー** 「経営課題の解決にデジタル技術をどう活かすか」

**狙い** 最新の DX 動向把握  
他社との比較による自社の状況把握  
自社にあったデジタル活用の検討

**内容** DX の動向と取り組む必要性  
中小企業庁「みらデジ経営チェック」  
DX 戦略立案の手順と実践までの流れ

**研修** 「DX 戦略策定研修」

※同じ内容の研修を日程を変えて 2 回行います。

参加企業にテキストを配布します。  
(1 社 1 冊)

**STEP 1** 自社分析

**STEP 2** 課題選定

**内容** デジトレ診断や「ありがたい姿整理シート」の作成

**「ありがたい姿整理シート」**

経営課題	現状 (2023 年時点)	実現したい姿 (2025 年時点)	達成度
デジタル化の推進	子会社・工場、顧客の ERP 導入計画が不明確 個人用 PC での業務の効率化が課題	クラウド導入による業務効率化 顧客との連携強化	2
人材育成	50 歳未満の若手社員が中心 デジタルスキル不足	デジタルスキル向上 若手社員が中心	3
その他	コスト削減、顧客の満足度向上 業務効率化	コスト削減、顧客の満足度向上 業務効率化	1

内部環境、外部環境のこれから 5 年程度の変化に対応して、経営のありがたい姿とそれを実現するための必達目標、デジタル技術を活かすポイント (DX のテーマ) を整理。なぜデジタル技術を活用するのか、DX に取り組むのか、その位置づけを可視化する。

**STEP 3** DX 戦略立案

**STEP 4** ブラッシュアップ

**内容** 「デジタル化マップ」の作成とブラッシュアップ

**「デジタル化マップ」**

顧客・商品・市場	業務プロセス
Plan/Do/Check	Do/Act
顧客のニーズを把握し、競争力を高める。デジタル化による競争力を高める。「力」を強化し、新しい市場に参入する。	コスト削減、業務の効率化、顧客の満足度向上。デジタル化による業務効率化。
現場のメンバーを中心に組織や商品の管理、保守活動の効率化。	デジタル化による業務効率化。顧客との連携強化。
商品の管理、保守活動の効率化。	デジタル化による業務効率化。顧客との連携強化。
現場のメンバーを中心に組織や商品の管理、保守活動の効率化。	デジタル化による業務効率化。顧客との連携強化。
現場のメンバーを中心に組織や商品の管理、保守活動の効率化。	デジタル化による業務効率化。顧客との連携強化。

DX の基本計画として取組内容を PDCA の視点で整理。現状の課題をどのような活動で解決し、変革・成長につなげていくかスパイラルアップの道筋を描く。これを実現するために、具体的に何を誰がいつ行うのかという行動計画を定義し、スムーズに行動するための手順書として用いる。

**オプション研修** DX に必要となる要素の研修

**内容** 参加企業のフェーズやニーズを基に、テーマを選定して研修を実施